

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 4 区分
【発行日】令和 5 年 5 月 11 日(2023.5.11)

【公開番号】特開 2022-107369(P2022-107369A)
【公開日】令和 4 年 7 月 21 日(2022.7.21)
【年通号数】公開公報(特許)2022-132
【出願番号】特願 2021-2279(P2021-2279)
【国際特許分類】

H 0 2 H 7/20(2006.01)

10

B 6 0 R 16/02(2006.01)

【F I】

H 0 2 H 7/20

B 6 0 R 16/02 6 4 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 4 月 28 日(2023.4.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 7

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 7】

A N D 回路 4 0 は、基準電位が第 2 電位 P 2 である駆動回路 H i 用の出力電圧を出力閾値と比較する。A N D 回路 4 0 は、2 つの出力電圧の少なくとも一方が出力閾値未満である場合、基準電位が第 2 電位 P 2 である出力端の電圧をゼロ V に調整する。この場合、スイッチ回路 J i において、回路抵抗 5 1 を介して電流が流れない。従って、サブスイッチ 5 0 について、基準電位がエミッタの電位であるベースの電圧は、ゼロ V であり、一定電圧未満である。結果、サブスイッチ 5 0 はオフである。

【手続補正 2】

30

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 8

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 8】

A N D 回路 4 0 は、2 つの出力電圧の両方が出力閾値以上である場合、基準電位が第 2 電位 P 2 である出力端の電圧を正の所定電圧に調整する。この場合、電流は、回路抵抗 5 2 , 5 1、第 2 導線 W 2 及び導体 G の順に流れる。これにより、回路抵抗 5 1 において電圧降下が生じるので、サブスイッチ 5 0 について、基準電位がエミッタの電位であるベースの電圧は、一定電圧以上である。結果、サブスイッチ 5 0 はオンである。A N D 回路 4 0 がスイッチ回路 J 1 , J 2 のサブスイッチ 5 0 をオンに切替えた場合、基準電位が第 2 電位 P 2 である駆動回路 H 1 , H 2 の入力電圧をゼロ V に低下する。A N D 回路 4 0 は低下回路として機能する。

40

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 4 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 1 4 6】

調整回路 3 0 では、A N D 回路 4 0 がスイッチ回路 J 1 のサブスイッチ 5 0 をオンに切

50

替えた場合、基準電位が第 2 電位 P 2 である駆動回路 H 1 の入力電圧をゼロ V に低下する。前述したように、入力閾値はゼロ V を超えている。結果、駆動回路 H 1 は、メインスイッチ F 1 をオフに切替える。基準電位差が出力閾値以上である間、メインスイッチ F 1 はオフに固定される。

10

20

30

40

50